

保証期間内に取扱説明書等の注意書にわたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形 名	高圧洗浄機 SHP-690A		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	6ヶ月 (付属品は含みません)
※お 客 様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
※販 売 店	住 所 店 名	〒 ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

高圧洗浄機 SHP-690A

取扱説明書



このたびは高圧洗浄機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

国前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

高圧洗浄機使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、高圧洗浄機としてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途上において衝撃等により接続金具が外れたり、破損することがありますので、使用前に必ず各部を確認してください。破損をしたままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、プラグを点検してください。傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- プラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 使用中は本機のガン・ノズルを両手で確実に保持してください。確実に保持していないと、本機が振れ事故の原因になります。
- 本機を、雨中や湿気の多いところに放置しないでください。またぬれた手で、電源プラグにふれないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 本機を、電機製品や洗浄機本体の洗浄には使わないでください。製品の損傷や感電の恐れがあり危険です。
- 噴射口を、人や動物には絶対に向けないでください。誤って高圧水が噴射して、思わぬ事故の原因になります。
- 小さいお子様や、ペットのいるそばで本機を使わないでください。また作業中も近づかないように注意してください。
- 小さいお子様や、不慣れな方には絶対に使わせないでください。事故の原因になります。
- 脚立や、はしご等で無理な姿勢では使用しないでください。高圧水の噴射により、バランスをくずして事故の原因になります。
- やわらかい物、こわれやすい物には高圧水を噴射しないでください。高圧水の噴射により、製品の破壊のみならず破損物が飛散して、事故の原因になります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)
- 取扱説明書に記載されている付属品以外のものは、使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている付属品に、損傷がないことを確認してください。
- 付属品の取付けは、取扱説明書に従い確実にとりつけてください。
- 溜水(雨水)や川・池の水等は使用しないでください。砂やゴミ等の異物を吸い込み本機の故障の原因になります。
- ノズル等付属品の取付け、交換ではスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意に起動して思わぬ事故の原因になります。
- 使用後は、必ず屋内で周囲温度が0℃以下にならない場所(凍結の恐れのない場所)に保管してください。本機の内部に残っている水が凍結し、本体が破損する恐れがあります。
- 取扱説明書は、高圧洗浄機をお使いになる方が、いつでも見られるところに保管してください。

仕様明細

型 式 名	SHP-690A
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	1.300W
電 流	14A
最 大 圧 力	6.9Mpa(70Kgf/cm ²)
吹 き 出 し 水 流	6L/min
給水最高許容温度	5~35℃
質 量	本体5Kg 部品1.2Kg
適合吸入ホース径	内径15mm
絶 縁 方 式	回二重絶縁

※ 本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

ご使用方法

- 外壁・窓の清掃、車の洗浄、農機具の洗浄、庭木の散水

部品の名称



図1

付属部品

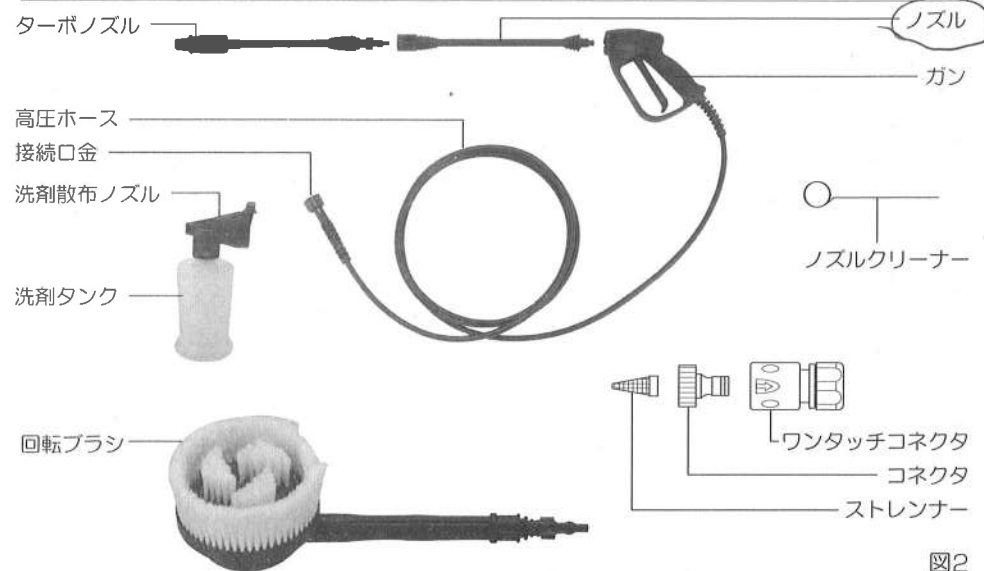


図2

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の効率でご利用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

Ⓜ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

部品の接続

⚠ 警告

- 使用前に、取扱説明書に記載されている付属品に、損傷がないことを確認してください。
- 高圧ホース、給水ホースの取付け交換では、スイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意に起動して事故の原因になります。
- 付属品の取付けは、取扱説明書に従い確実にとりつけてください。

■ 高圧ホースの取付け、取外し

●取付け(図3参照)

- ①本体左側面にある水の吐出口に、高圧ホースの接続口金を差しこみます。
 - ②口金についているナットを、右に回して確実に締付けてください。
- Ⓢ高圧ホースの取付けが確実でないと高圧水の噴射により、ホースが吐出口から外れて思わぬけがの原因になります。



図3

●取外し(図3、4参照)

- ①本体のON.OFFスイッチをOFFにして下さい。
 - ②水道蛇口を締めてください。
 - ③ノズルの先端より水が出なくなるまでスイッチの引き金を引いてください。
 - ④口金についている締込ナットを、左に回してホースを抜き取ります。
- Ⓢ高圧ホース抜き取りでは、口金についている締込ナットを持って引き抜いて下さい。ホースを持って引き抜きますとホースカバーがずれる場合があります、元の位置に押し込んで下さい。
- Ⓢ接続口金についているOリングは消耗品です、接続部から水漏れが発生した時はOリングの消耗が考えられますので交換してください(Oリングは市販品です)。

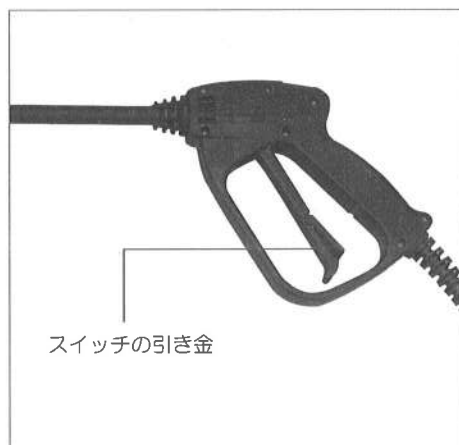


図4

■ 給水ホースの取付け

●給水ホース(市販品)に、付属のワンタッチコネクタを取付けます。(図5参照)

- ①付属品ワンタッチコネクタのホース締込ネジを左に回して外し、給水ホース(市販品)に通します。
 - ②ワンタッチコネクタに給水ホース(市販品)を差し込みます。
 - ③ホース締込ネジをワンタッチコネクタのネジに合せて締付けてください。
- Ⓢ蛇口には市販品のコネクタを取付けると便利です。

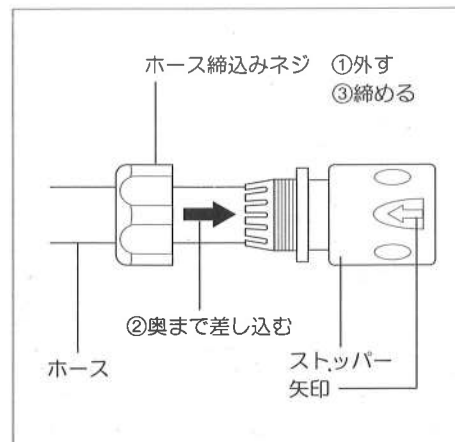


図5

●本体給水口に接続されているコネクタを取外します。ストレンナーが組込まれていることを確認し、取外したコネクタを接続してください。(図6参照)

- Ⓢストレンナーにゴミなどが付着していない事を確認して、コネクタを取付けてください。
- 本体給水口についているコネクタに、ワンタッチコネクタをカチッと音がするまで、確実に差込んでください。(図6参照)

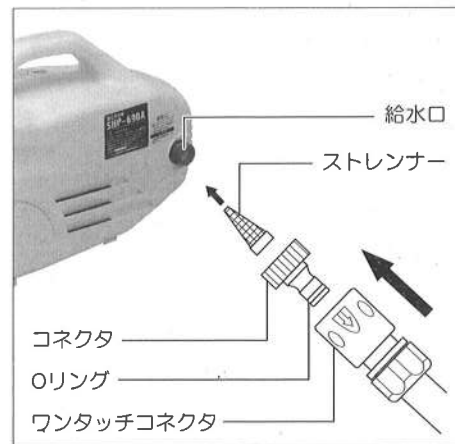


図6

Ⓢ市販の給水ホースは、耐圧水道ホース内径15mmをご使用ください。

- Ⓢワンタッチコネクタのホース締付けや、洗浄機本体コネクタへの取付けでは、洗浄機をご使用前に、ホースを引っ張って抜けないことを確認してください。

- Ⓢ市販のワンタッチコネクタ取付けは、商品についている組付け方法を参照してください。
- ⓈコネクタについているOリングは消耗品です、接続部からの水漏れはOリングの消耗が考えられますので交換してください。
- ⓈOリングは市販品です、サイズを確認して交換してください。

■ノズルの取付け方法(図7、8参照)

①スイッチの引金に付いているロックレバーを起し、スイッチの引金をロックしてください。

②延長ノズル片方の凹部にターボノズルの凸部を差し、奥まで押し込みます。

③ターボノズルを右に回し、延長ノズル横方向の凹みにターボノズル凸部を噛合うように引っ張ってください。

④組み上がったノズルをガンにねじ込み締付けください。

☞ターボノズルの差込みがきついときは、平面なところに延長ノズルを立てターボノズルを押し込むと容易に差込みが出来ます。

☞ノズルについているOリングは消耗品です。接続部からの水漏れはOリングの消耗が考えられますので交換してください。

☞Oリングは市販品です、サイズを確認して交換してください。

☞高圧水の噴射によりターボノズルが抜ける恐れがあります。ノズルの凸と凹部は必ず噛合わせてご使用してください。

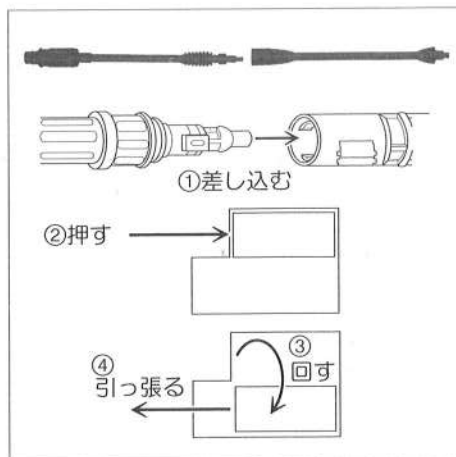


図7

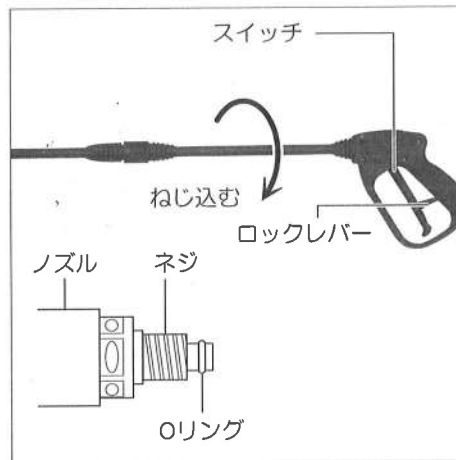


図8

⚠ 注意

- 本機の運転では、必ず水道蛇口を開けて運転してください。給水をしないで運転をするとポンプを傷め、故障の原因になります。
- 水道蛇口は、一度で全開にせず少量を開き水漏れのないことを確認してください。
- 水道蛇口、給水口コネクタの取付けや吐出口の高圧ホースの接続を、確実にしてください。不十分ですと、使用中にホースが外れて思わぬけがの原因になります。

■高圧噴射の方法(図9、10参照)

①本体スイッチをOFFにしてください。

②プラグを電源に差し込んでください。

③水道蛇口を少量開き、水漏れのないことを確認後全開してください。

④スイッチの引金に取付いているロックレバーを元の位置に戻し、ロックを解除してください。

⑤スイッチの引金を引いて、空気の混じりがなくなるまで水を出してください。

⑥水を出したまま本体スイッチのONを押し、モーターを起動させると高圧水が噴射します。

⑦ターボノズルは右回しでジェット噴射に、左回しで散水になります。

☞ガンを手を持たずにモーターを起動させると高圧水の噴射により、高圧ホースが振れて危険です、必ず手を持って本体スイッチのONを押してください。

☞本機は、スイッチの引金を放すとモーターが自動停止する、圧力スイッチが組込まれています。引金を放し、モーターが停止する事を確認してください。

☞次の作業までに高圧噴射を一時中断する時は、本体のスイッチをOFFにしてください。スイッチを入れたままにすると、モーター故障の原因になります。



図9

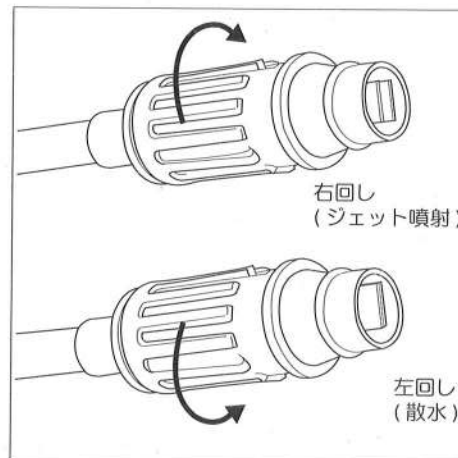


図10

ご使用方法

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
- ノズルの取付け、交換ではスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意に起動して事故の原因になります。

■洗剤散布用ノズルの取付け取り外し

①ターボノズル先端に洗剤散布用ノズルを押し込みます。

②洗剤散布用ノズルを傾けるようにしてノズルの爪をターボノズル凸部に噛み合せます。(図11参照)

☑カチッと音がして噛み合ったことを確認して下さい。

③取り外しでは、洗剤散布用ノズルの爪の下に親指の爪を押し込むと外れます。

☑洗剤タンクは、ガンを持った時下にぶら下がるようにして下さい。

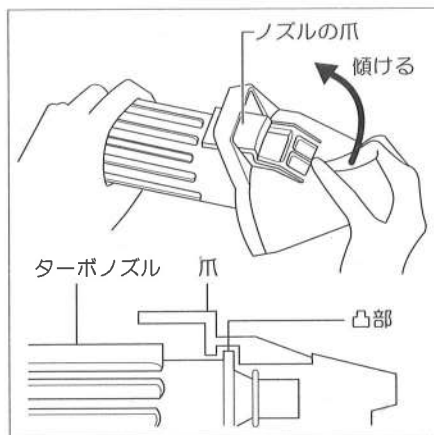


図11

■洗剤タンクの使い方

●洗剤タンクを左に回し下に引き抜くと、タンクがノズルから外れます。(図12参照)

●タンクに洗剤を入れます。

☑洗剤は必ず中性洗剤を使用して下さい。洗剤タンクを挿入口に差しこみ、右に回して固定します。

●プラグを電源に差込んでください。

●水道蛇口を少量開き、水漏れのないことを確認後全開して下さい。

●スイッチの引金に付いているロックレバーを元に戻し、ロックを解除して下さい。

●本体スイッチのONを押し、モータを起動させると洗剤水が混合されて噴射します。



図12

■回転ブラシの使い方

●回転ブラシの取付け(図13参照)

①ターボノズルを外し、ガンに接続された延長ノズルにしてください。

②9ページノズルの取付け方法を参照して下さい。

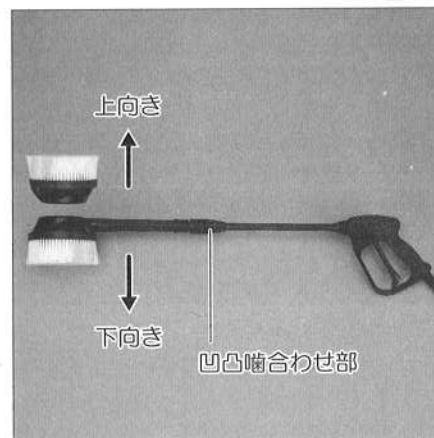


図13

●回転ブラシはガンを持った時に下向き、上向きにすることが出来ます。

☑高圧水の噴射により回転ブラシが抜ける恐れがあります。ノズルの凸と凹部は必ず噛み合わせてご使用して下さい。

☑ブラシは高圧水流で内側のブラシが回転します、洗浄の時に押しすぎると止まる事がありますので注意して下さい。

☑車の屋根・ボンネットや窓まわりではブラシを下向きで、タイヤ・ホイールなど下まわりではブラシを上向きでご使用になりますと便利です。

ご使用後の取り扱い方法

■一時的な作業の中断

- 本体スイッチのOFFを押して下さい。
- 水道蛇口を締めてください。
- プラグを電源からぬいてください。
- ノズルの先端より水が出なくなるまでスイッチの引き金を引いてください。
- スイッチの引金に付いているロックレバーを起し、スイッチの引金をロックして下さい。

■長期間ご使用されないとき

- 本体スイッチのOFFを押して下さい。
- 水道蛇口を締めてください。
- プラグを電源からぬいてください。
- ノズルの先端より水が出なくなるまでスイッチの引き金を引いてください。
- スイッチの引金に付いているロックレバーを起し、スイッチの引金をロックして下さい。
- 水道蛇口・本体のワンタッチコネクタを外し、給水ホースの水を抜いてください。(ストッパーを矢印側に引いてからワンタッチコネクタを抜きます。)
- 接続されている高圧ホースを本体より外し、高圧ホースの水を抜いてください。
- ガンに接続されているノズルを外し、ノズルの水を抜いてください。
- 洗浄機本体を持ち、給水口・吐出口側にそれぞれ傾けて本体内部の水を抜いてください。

保守・点検について

- 作業が終わりましたら、ご使用後の取扱い方法の手順に従い保守・点検をおこなってください。
- 作業の前、後に本機の各部を点検してネジのゆるみがないかを確認してください、万一、ゆるんでいるときは締め直してください。そのまま使用しますと大変危険です。
- ご使用前に、給水口に付いているストレンナーに異物が詰まっていないことを確認してください。また、ご使用後は清掃して保管をしてください。
- ノズルクリーナーでノズルの穴掃除を定期的に行ってください。特に洗剤散布用タンクの組み込まれているノズルをご使用后、そのまま放置しますと目詰まりの原因になります。
- 各部コネクタ、ノズルその他についているOリングは消耗品です、定期的に変換してください。

☑ Oリングは市販品です、サイズを確認して交換してください。

- 初めてお使いになるときや、長期間保管されていたときなど、給水口・吐出口に白い粉状のものが見られることがあります。製品に影響を与えるものではありませんので、拭き取ってお使いください。
- 作業が終わりましたらゴミを取り除き乾いた布でヨゴレをふきとり、屋内の湿気の少ない、お子様の手の届かないところに保管してください。

☑ 屋外(周囲温度が0度以下のところや直射日光の当たるところ)に放置しますと本機の破損やモータ故障の原因になります。

- 本機に異常がありましたらお買上げの販売店または弊社にご連絡下さい。(又は、修理に出してください。)